

おるご〜る

No.
191

男女共同参画

わこうプラン推進委員だより

閩人権文化課 ☎424-9088

キャリアを考える

わこうプラン推進委員

最上 真由美

今の時代、働く女性の育休取得率は約8割。妊娠中に保活を始め、保育園に入れたら復職。保育園に入れずやむなく育休延長するのむたい女性。復職後、時間との戦いの生活に疲れ退職を選び、活躍できないダメ人間と自らを責める人もいます。しかし問題は育児が女性に偏っていたり、仕事との両立を困難にする社会の方にあるのです。一方、男性の育休取得率はわずか2.65%。多くの男性は育児と仕事の両立の悩みなどないかのように働きます。

キャリアというと日本では職業上の経歴といった捉え方が主流です。例えば退職するとキャリアが断たれるという言い方もします。しかしキャリア本来の意味は「車輪の轍(わだち)」。人生

そのものと定義されています。育児や介護、病気、社会活動、定年その他の理由で退職してもキャリアが終わるなどということはないのです。L・サニー・ハンセンはキャリア理論でキャリアには仕事、学習、余暇、愛の4つの役割があり、自分について考える時は、自分の中の自分、周囲の中の自分、全体の中の自分、のそれぞれの側面から考えることが必要だとしています。会社で働くだけが活躍ではないし、地域活動も趣味を楽しむのも立派な役割なのです。キャリアとは人生そのもの。自信を持って生きましょう。そしてこれからは性別で役割を固定することなく、男性も家庭でのキャリアを、女性も仕事の場でのキャリアを存分に磨くことのできる社会になることを願っています。

『男女共同参画苦情等処理窓口をご利用ください!』

「市の男女共同参画推進施策や男女共同参画の推進に影響を及ぼす施策への苦情」や「セクハラや男女共同参画を阻害する人権侵害の相談」をお受けします。

閩人権文化課 ☎424-9088